



二〇二四年度

# 中国古典文化講座

中国文化をかたち作るもの

## 菅原道真の「九月十日」の詩と その典拠について

講師

原田愛氏

金沢大学人間社会研究域学校教育系准教授

会場

立命館大学衣笠キャンパス  
立命館孔子学院講義室

(国際平和ミュージアム3階)

※オンラインライブ配信あり

10/26(土)  
13:00~14:30

平安時代中期を生きた菅原道真(845-903)の有名な漢詩の一つである「九月十日」詩は、延喜元年(901)謫所の大宰府において、その前年の九月十日に京都の清涼殿で醍醐天皇のために詠んだ「秋思」詩を回顧しながら創作された作である。京都の北野天満宮の「余香祭」、福岡の太宰府天満宮の「秋思祭」は、このときの道真の哀しみや憤りを偲び、鎮めるための祭事でもある。今回の講座では、このように現在もなお影響を及ぼす、道真の二首の「九月十日」の詩とその典拠などについて考える。因みに、これまで白居易詩の典拠や影響は指摘されていた。ただ、それ以外の典拠、例えば、『史記』や『文選』、李白などについては、あまり考察されてこなかった。こうした典拠の内容を一つずつ辿りつつ、道真はその典拠をどのような思いを込めて用いたのか、その創作意図を改めて探りたい。

参加無料  
(事前申込制)

↓詳細はこちらから↓



連絡先 立命館孔子学院 (立命館大学 国際平和ミュージアム3階)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデメイア立命21内  
TEL : 075-465-8426 FAX : 075-465-8429 MAIL : koza@st.ritsumeikan.ac.jp  
HP : <https://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/>